

(その4)

所 信 表 明 書

2021年 2月 25日

氏 名 鮫島 浩

(所 信)

私は約5年間、現学長のもと大学病院担当の理事として大学運営に携わってきました。その中で見えてきたのは、宮崎大学が持つ強靱な基盤であり、レジリエンスに富んだ豊富な人材と、宮崎に密着し地域と協働して築き上げてきた数多くの優れた業績です。この様な現状認識を踏まえ、以下に所信を表明します。

将来構想

これまでの方向性を継続することと、社会や時代の新たな要請に応えるべく柔軟に活動を推進することを大きな柱とします。各学部部局の強みを活かし、総合大学として協働し、地域社会からの更なる信頼を得ることができるよう、諸問題に対処していきます。

継続に関しては、第3期中期目標期間に始めた諸事業を第4期中期目標期間に発展させ、結実させるために積極的に取り組むつもりです。第3期中に多くの事業が動き始めており、それらを着実に実現させるために活動します。宮崎大学がイニシアチブをとり、地域全体を牽引し続けることが重要です。

一方、時代の流れは早く、多様であり、またコロナ禍の様な突発的災害も起こります。時代の要請を見極め、ニューノーマルな社会に向かって何をなすべきかをしっかり捉え、宮崎大学の英知を結集して対応する体制整備を推進します。大学内の連携に加え、国内外の諸機関との連携も積極的に推し進めたいと思います。その実現に向けて各団体組織と連携し、国際貢献も積極的に推し進めます。

大学運営

現在の厳しい財務状況の中、今後も、それぞれの部局の自主性を尊重し、部局の特徴を活かしつつ柔軟で個別化した対応を引き出す必要があると考えています。

競争的資金の獲得は今後も重要であり、それを援助する体制整備を推し進めます。並行して、地域産業を巻き込んだ協働事業を広く展開する事で、地域に根ざした大学運営を推進します。この両者を主軸として、教育・研究基盤、財政基盤を強化していくつもりです。宮崎

大学基金等も更に充実させ、地域産業界との密接な連携をより強固にしていきます。

教育・研究・社会貢献・国際貢献

教育と人材育成は大学の礎です。高等教育機関としての役割を果たし、優秀な人材を育成し、育成した人材を地域に確保することに努めます。文理の枠にとらわれず、個性を活かしつつもバランスの取れた人材を育成できる体制を目指します。大学教員の役割は重要であり、多様性に富む人材、国際的人材、若手人材を発掘し、その活動を支援します。またリカレント教育の展開、地域の人々に開かれた教育環境の整備、ICT利用にも注力します。

研究活動は大学の基軸です。各部局で取り組んできた特徴ある研究が更に発展するよう支援したいと思います。先端研究の追求は重要です。加えて『宮崎ならではの』の視点も重要です。地域貢献に繋がる研究は、宮崎大学の独自性と直結します。地域に研究シーズを見つけ、その解決を目指した部局間連携による融合型の研究を推進し、またその基盤整備に努めます。『宮崎のことは宮崎大学が世界一』である自負を持ち、学術的成果を世界に発信し続けたいと思います。

国際貢献も、教育・研究領域を中心にこれまでの活動を継続推進していきます。先進地域に加え、地理的にも歴史的にも近いアジア諸国との連携が益々重要になると考えています。

宮崎大学は、地域の展望を担う大学としてその期待に応える使命を持っており、社会と時代の要請に応じて今後とも変化、発展する必要があります。そのためには明確な将来構想のもと、健全な大学運営をはかり、教育と人材育成の推進、研究基盤の強靱化と研究の推進、国際貢献、国内外の諸機関との連携等を大学一丸となって推進する必要があります。

私は上記の任務を誠実に、全力を注いで全うする覚悟であり、その決意のもと宮崎大学学長に立候補いたします。

(注) 1. 用紙は、日本産業規格 A 4 縦型とする。

2. 所信欄に、宮崎大学の将来構想、教育・研究・社会貢献・国際貢献、大学運営に関し、2000 字程度で作成してください。

3. この所信表明書は、選考過程において公表されます。